



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー & プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.200000894/F/USA/JP

承認日: 2001年6月25日

作成日: 2003年12月1日

1 製品名

コダック プロフェッショナル フィルム セメント

CAT No.195 6176

1 パイント

2 危険・有害性の分類

危険 : 1,4-ジオキサン、ジクロロメタン、アセトン、メタノール、ニトロセルロースを含有。
中枢神経に影響を与える。
心臓に影響を与える。
肝障害を起こす可能性がある。
腎障害を起こす可能性がある。
爆発性の過酸物を形成する。
過酸化物を形成する。
動物実験によれば、発癌性がある。
液体および蒸気は可燃性。
感熱性 - 熱により分解する。
吸入したり、皮膚から吸収したり、あるいは飲み込むと有害。
高濃度の蒸気は、催眠性があり、眼、呼吸器系を刺激する。
眼、皮膚に炎症を起こす。

3 物質の特定

混合物

成分	重量%	CAS No.	PRTR 政令番号
1,4-ジオキサン	50	000123-91-1	
ジクロロメタン	26	000075-09-2	
アセトン	19	000067-64-1	
メタノール	3	000067-56-1	
ニトロセルロース	1-5	009004-70-0	

4	応急措置	
	吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移動する。呼吸していない場合、人工呼吸を行う。呼吸困難の場合は、酸素吸入を行う。医療手当てを受ける。
	眼に入った場合	: 直ちに、多量の水で 15 分以上洗浄し、医療手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	: 直ちに、付着した衣類、靴などを脱ぎ、多量の水で 15 分以上洗い流した後、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。
	誤飲した場合	: 医師の指示に従い吐く。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。直ちに医師に連絡する。
5	火災時の措置	
	消火手段	: 水スプレー、二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤
	火災時の特別対応手段	: 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。火災にあった容器は水スプレーを使用して冷却する。水は消火に効果的でないことがある。
	有害燃焼物質	: 二酸化炭素、一酸化炭素
	異常火災 / 爆発の危険性	: 可燃性。この製品は、容器の上部空間に蓄積する可能性のある可燃性溶剤を含有。蒸気は、急激な火柱の発生、または、爆発性の発火を起こす。さらに、かなり離れた発火性物質にまで達して逆流することもある。爆発する濃度に達するまで、蒸気あるいは気体が蓄積することのないようにすること。
6	漏出時の措置	
	全ての発火源を取り除く。不活性物質に吸収させ、化学物質廃棄用の容器に回収する。	
7	取扱い及び保管上の注意	
	取扱い	: 蒸気を吸入しないよう注意する。眼、皮膚、衣類に付着しないようにする。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
	火災や爆発の防止	: 適度な換気をする。可燃性物質の保管、取扱い、分配、廃棄に関する国、地域の全ての規約に従う。熱、スパーク、火災から離して保管する。酸化物質に接触させない。過酸物の形成が疑われる場合には、容器を開けたり動かしたりしないこと。容器を開けた場合は、閉じる前に窒素置換を行う。長期間保管する場合には、過酸物が形成していないかどうか、定期的に調べる。水または適当な希釈物質を加えると過酸物の形成を減少させることができる。ほとんど乾固するまで蒸溜したり、溶媒を蒸発させたりしない。空気との接触を最小限にする。
	保管	: 密栓して風通しの良い冷所に保管する。火および光を近付けないこと。
8	暴露防止措置	
	許容濃度	: ACGIH (TLV) ジクロロエタン: 50ppm TWA (A2) 1,4-ジオキサン: 20ppm TWA、皮膚 アセトン: 750ppm TWA、1,000ppm STEL メタノール: 200ppm TWA、250ppm STEL、皮膚 イーストマンコダック社の産業衛生ガイドライン ジクロロメタン: 50ppm TWA (8-12 時間)、200ppm STEL (15 分) OSHA (USA) (PEL) ジクロロメタン: 500ppm TWA、2,000ppm 最高濃度、1,000ppm 天井値 1,4-ジオキサン: 25ppm TWA、皮膚

	アセトン:	750ppm TWA、1000ppm STEL
	メタノール:	200ppm TWA、250ppm STEL、皮膚
換気	:	換気の良い場所で取扱う(10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。空中に散布する粉塵の濃度を勧められる暴露許容濃度以下に維持するために、工程封入装置、局所排気などの制御装置を使用する。
呼吸器系の保護	:	空中に散布した粉末を機械的に許容値まで制御できない場合には、認定されたマスクをつける。 マスクのタイプ:有機蒸気
眼の保護	:	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡の着用。
皮膚の保護	:	暴露の危険性を防止するために適切な不浸透性の手袋と保護衣を着用する。
浄化する設備	:	洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 | 物理・化学特性

外観	:	液体
色	:	黄色
臭気	:	刺激臭
沸点	:	49°C
蒸気圧	:	209mbar (157mmHg) / 20°C
蒸気密度(空気 = 1)	:	2.7
揮発留分(重量)	:	98%
比重(水 = 1)	:	1.033
pH	:	
水溶性	:	溶けない
引火点	:	-7°C

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性	:	安定。濃縮すると爆発性の過酸物を形成する。
不適合物質	:	強酸化剤、還元剤
危険分解物質	:	ホスゲン、塩化水素
危険重合物質	:	知見なし

11 | 有害性情報(暴露の影響)

一般	:	発癌の可能性がある。動物実験のデータからは発癌性が疑われる。腎障害、肝障害を起こす可能性がある。カルボキシヘモグロビン濃度の上昇がみられ、これによる悪影響に対しては心血管系疾患のある人でより敏感である。中枢神経系の抑制を起こすことがある
吸入	:	吸入すると有害。蒸気圧の高い場合には眠気、炎症を起こす。
眼	:	炎症を起こす。蒸気は炎症の原因となる。
皮膚	:	皮膚から吸収すると有害。炎症を起こす。
誤飲	:	飲み込むと有害。消化管に炎症を起こすことがある。

12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測していますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

- 予測される特性：
- 水質系に流出した場合、BOD は中庸であり、酸素を破壊する可能性がある。
 - 水中生物への影響は中庸。
 - 生物分解処理はされにくい。
 - 植物の発芽や初期の成長段階に影響を及ぼす可能性は少ない。
 - 活性化スラッジ中の順化していない微生物で生分解する可能性は中庸(自然環境に残存する可能性は中庸)。
 - 生物濃縮の可能性は少ない。
 - 大量の水で希釈すれば、直接間接的に自然環境に放たれても問題はないであろう。

13 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物に該当しない。

自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

- 廃棄物処理法
 水質汚濁防止法 : 生活項目
 下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

陸上輸送は消防法の規定による。航空輸送は IATA 規則の規定による。

- Air Transportation : Forbidden (航空禁止)
 Class :
 国連番号(UN Number) : UN 1133
 Proper shipping name :
 Subsidiary risk :
 Packing group :
 Passenger aircraft :
 Cargo aircraft only :
 Further information :

15 適用法令

- 化学物質管理促進法(PRTR 法) :
 毒物劇物取締法 :
 労働安全衛生法 : 安衛則、引火性のもの、有機剤第 2 種(有機溶剤)
 消防法危険物分類 : 消防法第 4 類第 1 石油類

16 その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取扱いには十分注意して下さい。